

日本テコンドー協会（J T A）
2023年4月 理事会通信

日本テコンドー協会
理事長 河 明生

理事会における公開可能な決定事項につき告知します。

主要議題

第34回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会
同等記録会2023年11月18日（土）実施

優勝者には全日本FT大会同等の名誉（第34回全日本FT大会優勝者・優勝団体と記録）を与える。

及び

A級組手試合におけるヘッドギア着用

記

一、第34回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会同等記録会（以下、全日本記録会）を実施する
優勝者には全日本FT大会同等の名誉（第34回全日本FT大会優勝者・優勝団体と記録）を与える。

1、開催日及び場所

日時 2023年11月18日（土）9：15

第26回関東大会開催時、同時実施

場所 横浜武道館（JR京浜東北線・根岸線 関内駅 南口 下車徒歩6分、
横浜市営地下鉄 伊勢佐木長者町駅 下車徒歩4分、有料駐車場有）

2、実施種目（予定）

実施種目は、予選会に参加した選手のレベルを見極め決定する。

- 1) A級男子組手無差別級（フルコンタクト・テコンドー・ルール、技あり・一本勝ち有り）
- 2) A級蹴武型（男女混合、年齢配慮無し）
- 3) A級団体戦型（男女混合、年齢配慮無し）
- 4) B級蹴武型（男女混合、年齢配慮無し）

3, 予選会

上記、全日本記録会への選抜は、次の予選会に参加した選手のレベルを見極め決定する。

全日本記録会と同じ種目を実施する。

- 1) A 級男子組手無差別級 (フルコンタクト・テコンドー・ルール、技あり・一本勝ち有り)
- 2) A 級蹴武型 (男女混合、年齢配慮無し)
- 3) A 級団体戦型 (男女混合、年齢配慮無し)
- 4) B 級蹴武型 (男女混合、年齢配慮無し)

全日本記録会参加希望者は必ず予選会に参加しなければならない。

1) 東日本 (中部含む) 予選会

2023年7月30日 (日) 第12回横浜市テコンドー選手権大会 (横浜武道館)

2) 西日本予選会

2023年8月27日 (日) 第14回九州テコンドー選手権大会 (福岡県春日市総合スポーツセンター)

3) 東日本のクラブ所属選手の西日本予選会への参加を可とする。逆も可。

二、A 級組手試合におけるヘッドギア着用

4年間の疫病により、青年部の組手技術レベルの低下が JTA の課題となっている。

この事実は率直に認めなければならない。

(他の打撃武道の主力選手の主流は、武道場経営を生業としている「プロ道場主」である。

「プロ道場主」は大会での成績が道場経営を左右するから疫病にかかわらず大会があれば参加するため、組手レベルの低下は著しくはない。

しかし、JTA には「プロ道場主」はいない。

JTA 本部の方針としてクラブ長は定職をもつことを勧めているからである。

逆に、「プロ道場主」を勧めていない。

過去の事例から明らかなように傘下会員が100人を超えるようになると

己の分をわきまえず恩をあだで返して独立し、JTA を愛している傘下会員を傷つけるからである)

また、A 級組手の主力選手も歳を取り、結婚や出産等で扶養家族が増え、疫病前の5年前とは異なり

「自分一人の身体」ではなくなった。

無差別級組手大会への参加につき「危ない」という理由で妻からの理解も厳しくなりつつある。

JTA はアマチュア武道団体でありプロではない。

上記の現実を鑑み、A 級組手参加者の死亡や後遺障害を防止するため

2023年7月より A 級組手はヘッドギアを着用するものとする。